



朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@city.asaka.saitama.jp

発行責任者 校長 小太刀 周

真に続ける、続けられる人間

校長 小太刀 周

今年の運動会は、青空の下で実施することができました。9月上旬から天候に恵まれず、練習時間が限られましたが、子供たちは練習の成果を発揮し、素晴らしい演技や競技を見せてくれました。多くのご来賓や保護者・地域の皆様にもご参観いただき、温かい声を掛けていただきました。心よりお礼申し上げます。また、多くの保護者の方に準備や片付けのお手伝いをいただきました。ありがとうございました。無事にそして大変楽しく盛り上がった運動会となり、心より感謝申し上げます。

また、当日は、例年どおり開門時間を午前7時に設定し、門に張り紙などをしてご協力をお願いしましたが、皆様には早朝より門の前で整然と時間を待っていただきました。本当にご協力ありがとうございました。

さて、秋分の日（秋の彼岸）を境にめっきりと朝夕が涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。春分の日（春の彼岸）と同様に、「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、私達は日本の自然の移り変わりの素晴らしさを体一杯に感じることができます。今まさに農家では、丹精込めて育てあげた黄金色に輝く稲穂の刈り入れの真っ最中です。田を耕し苗を植え、水や肥料の管理をし、時には草取りもし、自然からの猛威を防ぎ、ようやく手にする収穫です。人間世界でも稲と同じような営みが日々行われています。例えば、

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ①一人で翌日の授業準備ができるようになった・・・続けられている。 ②一人で服の着脱や整理整頓ができるようになった・・・続けられている。 ③誰に言われずとも宿題や予習を必ずしている・・・続けられている。 ④みんなのために仕事等ができるようになった・・・続けられている。 |
|--|

などと、最初に立てた目標が継続され実行されているでしょうか。学校では明るい笑顔の挨拶や友達のことを考えた言葉遣いや発言もできるようになりました。だんだんと行動にも変化が見られ、人から信頼されたり喜ばれたりする姿が多く見られるようになりました。つまり、4月よりは成長・発展した子供たちをたくさん感じ取ることができるのです。

稲穂から連想される言葉に下記のものがありますが、子供たちがこのように育ったならば嬉しいこと限りなしです。

実るほど頭を垂れる稲穂かな

～人格者ほど謙虚であるというたとえ～

学校では4月から数えて六ヶ月、3月迄の残り半分の時間、さらなる成長を願いあらゆる教育活動の充実に努めていきます。

保護者の皆様、継続は力なりを信じ、子供たちが4月に立てた目標の進捗状況・出来栄への途中確認をお願いすると同時に共に元気で明るい毎日を築いていけたらと思います。よろしく申し上げます。